

園芸農業を核とした農業クラスター形成のための支援策の充実

提言6 農業経営の発展に必要な労働力の確保について

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

我が国農業の競争力を強めていくためには、個々の農業者の経営発展を促し、農業クラスターに参入するなど次世代の担い手を育成していくことが大変重要です。そのためには、全国的に大きな課題となっている労働力不足を早急に解消する必要があります。

しかしながら、この課題は、高齢化や人口減少などにより慢性的な労働力不足を抱える農村地域だけで解消することは困難であり、かつ労働人口自体の少ない県では県域での取り組みにも限界があることから、県域での労働力確保の取り組みを支援するとともに、県域を越えた広域での労働力の調整を行う仕組みの構築を提言します。

【政策提言の具体的内容】

1. 県域で取り組む「労働力確保対策」への支援

援農者の募集活動や求職者・求人者のマッチング活動、労働力を補完する県域での取り組みについて支援する予算（農業労働力最適活用支援総合対策事業）の確保を提言します。

2. 県域を越えた労働力確保対策の実施

四国エリアや中四国エリアなど、広域での労働力の調整を行う仕組みづくりを提言します。（農業労働力最適活用支援総合対策事業の支援メニューの新設）

- ①広域で労働力を調整する協議会の設置
- ②援農者と各産地を結ぶ広域（中四国エリア）の相談会の開催
- ③援農者の情報収集と各産地への提供（相談会で得られた情報をデータベース化し、各産地に提供）

【政策提言の理由】

- ・ 農業分野での労働力不足は、全国的な課題となっています。
- ・ 本県が昨年行った調査では、調査農家の約4割で労働力が不足しているとの回答があり、農業クラスターに参入する担い手にとっても労働力の確保が喫緊の課題です。
- ・ その解決のため、本年度から、県・JA等からなる協議会を発足し、各地域で求職者を掘り起こし、求職者と求人者のマッチングを推進するとともに、地域をまたがる労働力の調整を行うことにより、県域で労働力を補完するための仕組みを構築することとしています。
- ・ しかしながら、高齢化や人口減少などにより慢性的な労働力不足を抱える本県においては、県域だけでの取り組みには限界もあります。
- ・ そのため、県域での労働力確保の取り組みを支援するとともに、県域を越えた広域での労働力の調整を行う仕組みの構築が必要です。

【高知県担当課室】農業振興部 環境農業推進課